

下 界 出

新

清

782-4

俳諧資料カード

年代 天明二種

編者
(筆者)

書名 白山下

備考

(下垣内蔵)

天明二年庚

東京町北五丁目三十三番地

下垣内和

電話〇八三三七一九八五四

長一息

松林会



あさき書か筆名よるる也

文香

あさきりく角しうたすやかわる月

文香

日よ年よ肥とと梅よちのまじ

冬市

月影よらん柳よかわるる

女 榎木

家あつる山よあつるや罪子の人

松林

あここと山と影あつる夜うら

文柳

聖節

古稀の長と心と一ととあつるは流海

くもりくもりくもり

玄沙坊

新報の

くもりくもりくもり

長息

梅ゆく直折以り姑のあつる松の光

長里

連音の系あつるひうり柳うら

柳う

あさきよとのあつるしらぬの

記香

目昔

松の新とあつるのやしと心

芳松

借ん人のまじと目あつる一本は道

あさきよと常とあつる

お糸

梅よかや書とえとあつる

あさきよとあつる

甚所

あさきよとあつる

あさきよとあつる

お存 里芳

勝海舟の著書

稲林

川雲の著書

一冊

長谷川信子

長谷川信子の著書

長谷川信子の著書

風好

人の多とち

七年

東瀛の志士

一冊

一七七一

玄武坊

川

道

是

新書

新書の著書

友

凡切

京橋

